【投稿・執筆規定】

1. 本誌の目的

① 理学療法及びその関連領域における，研究報告と実践報告の場を提示すること．

② 理学療法士の卒後継続教育の奨励（教育的な論文の掲載）．

③ 中部リハビリテーション専門学校同窓会で処理された色々な事柄の記載．

2. 投稿記事の種類

調査・研究，症例報告，卒後症例検討会，文献抄読，その他

3. 投稿者の資格

原則として筆頭執筆者は本会の会員であること．しかし，特に本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する．

4. 具備すべき条件

① 規定枚数について

調査・研究，症例報告は図表，参考文献を含み，400字詰め原稿用紙20枚程度，卒後症例検討会は図表，参考文献を含み，８枚程度，文献抄読は３枚程度とする．図表は１つ400字換算とする．

② 論文には和英併記にて題名・所属名・氏名をつける．

③ 原稿は横書き，口語体，現代かなづかい，数字は算用数字，数量は原則として国際単系（SI単位）を用いる（時間：s，長さ：m，量：kg，温度：℃，周波数：Hz等）．

④ 文献は必要最小限にとどめ，本文の引用順に並べる．雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，巻，項（最初—最終）西暦年の順に書く．単行本の場合は，著者氏名，書，編集者名，発行所名，年次，項を記載する．文献の省略は公の省略法（IndeMedicusなど）に従う．引用文献の著者氏名が３名以上の場合は最初の２名を書き，他は・他，またはet al.とする．

例）

近藤克則，太田正：脳卒中早期リハビリテーション患者の下肢筋断面積の経時的変化－廃用性筋萎縮と回復経過－．リハ医学 34：129－133，1997

O'Dwyer NJ, Ada L, et al.：Spasticity and muscle contracture following stroke. Brain 119：1737－1946, 1996

平山恵造：筋緊張．神経症候学．光文堂．東京，1971，pp447－494.

伊藤鉄夫：大腿骨頚部内側骨折．股関節外科学改訂２版　伊藤鉄夫（編），金芳堂．東京，1983，pp419－447.

⑤ 調査・研究，症例報告には400字程度の要旨をつけること．

5. 原稿の選択

原稿の採否，掲載順は編集委員にて決定する．また，編集の責任において，多少字句の訂正することがある．

6. 校正

著者校正は原則として１回とし，校正は赤字で行う．

7. その他

本誌に掲載された論文の著作権は，中部リハビリテーション専門学校同窓会「同友会」に属する．

8. 原稿送付先および連絡

〒453-0028　名古屋市中村区若宮町二丁目２番地
中部リハビリテーション専門学校
TEL 052(461)1677　FAX 052(471)2333
同友会事務局宛

Presented by Medical*Online